

# 報告：第13号

9月9日(月) 03 神山玄太 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1~ 1-3	人口減少対策に係るこれまでの取組について	企画部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1~ 2-5	人口減少を克服するこれからの“戦略”について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	甲府 IKIGAI コンソーシアムとの連携と今後の展開について	企画部長	1
<u>3-3~</u> <u>3-5</u>	<u>緑が丘スポーツ公園のリニューアルについて</u>	<b>教育部長</b>	<b>2</b>

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 緑が丘スポーツ公園のリニューアルについて

- (1) 質問者 神山 玄太 議員
- (2) 質問日 9月9日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 答弁内容

本市においては、市民の日常的な健康づくりやスポーツ活動など、生涯スポーツを支える場である市有スポーツ施設の多くが、建設から30年以上経過し、今後、多額の整備費用がかかることが懸念されることから、計画的に改修する必要があると判断し、平成30年3月に「甲府市スポーツ施設整備基本方針」を策定したところであります。

この方針の策定にあたり、平成29年9月に実施した市民意識調査では、「身近で気軽にスポーツができる環境」や「子どもや高齢者などが楽しめる環境」の整備を求める声が多かったことから、緑が丘スポーツ公園の改修にあたっては、子どもの運動機会の充実を図るとともに、ジョギングやウォーキングなどのライフスポーツができるよう整備をしていきたいと考えております。

現有の競技施設につきましては、甲府市体育協会を通じ、各競技団体の要望を集約する中で、基本方針を取り纏めたところであります。

今後におきましては、関係部署が連携する中で具体的な整備内容について検討し、山梨県と綿密な協議や補償交渉を進めるとともに、市民や競技団体への丁寧な説明に努めながら、事業を進めてまいります。

# 報告：第13号

9月9日(月)04 木内直子 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(分割方式) 2-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	消費税率の引上げについて	市長	1
1-3	行政評価外部評価について	企画部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	「すこやか子育て医療費助成制度」の年齢拡大について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	「健康都市宣言」について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	甲府市洪水ハザードマップの周知について	危機管理監	1
4-3	ブロック塀改修事業の促進について	まちづくり部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	「立地適正化計画」について	まちづくり部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1	生産緑地制度の導入について	まちづくり部長	1

# 報告：第13号

9月9日(月)04 木内 直子 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(分割方式) 2-2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
<u>7-1</u> <u>7-2</u>	<u>市立学校における男女共同参画について</u>	<b>教育長</b>	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
8-1	AGE(終末糖化産物)値測定の導入について	福祉保健部長	1

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 市立学校における男女共同参画について

- (1) 質問者 木内 直子 議員
- (2) 質問日 9月9日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

学校では、「第3次こうふ男女共同参画プラン」を踏まえ、社会科や家庭科、道徳、特別活動などにおいて、男女平等や異性についての理解を深め、共に協力し尊重しあい充実した生活づくりに参画していくことや一人ひとりの個性や能力を生かし、伸ばす指導を行っております。

名簿の形式については、学校長が各校の実態や必要に応じて決定しており、現在、小学校では6割強の学校で、男女混合名簿が使用されております。

一方、中学校及び甲府商業高校では、身体測定や授業など性差の特徴による指導上の配慮、統計上の必要や機能性から全ての学校で男女別名簿が使用されております。

今後におきましても、名簿にこだわらず、学校教育の様々な機会を通じて、男女共同参画の意識作りを行っていくことが大切であると考えておりますので、名簿の形式については、各学校の主体的な判断を尊重してまいりたいと考えております。

次に、制服の選択性についてですが、現在、全中学校及び甲府商業高校では、男女別の制服を採用しております。LGBT等性的マイノリティへの対応につきましても、各校において、個別に相談を受ける中で、自認する性の制服の着用を認めるなど、柔軟な対応を図っております。

今後におきましても、児童生徒が、安心して生活し、自分の個性や能力を

## 報告：第13号

生かすことのできる学校環境づくりに取り組んでまいります。

# 報告：第13号

9月10日(火) 06 岡 政吉 議員 答弁資料目次 (令和元年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	事業の進捗状況と今後の行政運営について	市長	1
1-3	中心市街地活性化への取組について	市長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	期日前投票所について	選挙管理委員会 委員長	1
<u>2-2</u>	<u>市立の中学校、高校、専門学校における主権者教育について</u>	<u>教育長</u>	<u>2</u>

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	高層建物などの一時避難場所の確保について	危機管理監	1
3-2	市立甲府病院の建物へのヘリポート設置について	市立甲府病院 事務局長	2

## 報告：第 13 号

令和元年 9 月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 市立の中学校、高校、専門学校における主権者教育について

- (1) 質問者 岡 政吉 議員
- (2) 質問日 9 月 10 日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

平成 27 年に「公職選挙法等の一部を改正する法律」が成立し、選挙権年齢が 18 歳に引き下げられたことにより、これまで以上に、主権者として社会の中で自立し、

他者と連携・協働しながら、地域の課題解決を主体的に担う力を育む主権者教育の推進が求められているところであります。

このような中、中学校におきましては、社会科の授業において、民主政治や選挙の仕組みを理解し、その意義について考える学習を進めるとともに学級活動や生徒会活動を通して、主体的に、選挙について学んでおります。

甲府商業高校におきましては、これまでも、公民科において、総務省・文部科学省作成の副教材「私たちが拓く日本の未来」を活用した授業や選挙管理委員会の出前授業による模擬投票など実践的な主権者教育を行ってまいりました。

加えて、本年度は、選挙管理委員会と連携し、7 月 21 日に行われた第 25 回参議院議員通常選挙における投票所の投票立会人を選挙権のある 3 年生が務めたところであります。

また、甲府商科専門学校におきましては、今年度、市選挙管理委員会や市議会事務局と連携を図る中で、主権者教育を始める予定であります。

今後におきましても、生徒の発達段階に応じ、体験的な活動などを通して



## 報告：第13号

選挙や民主政治の仕組みや意義を含む主権者教育の充実に努めてまいります。

## 報告：第13号

9月10日(火)07 小沢宏至 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)  
(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	避難情報発令に関する取組について	市長	1
1-2	被災者の生活再建計画等の取組について	危機管理監	2
1-3	太陽光発電パネルによる感電の危険性について	危機管理監	3
1-4	危険物施設に係る消防本部との連携について	危機管理監	4

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
<u>2-1</u>	<u>信玄ミュージアムの来館者増加への取組と現状について</u>	<u>教育部長</u>	<u>1</u>
2-2	武田神社周辺への飲食物販店舗の出店について	産業部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	森林環境税等を活用した森林整備について	産業部長	1

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 信玄ミュージアムの来館者増加への取組と現状について

- (1) 質問者 小沢 宏至 議員
- (2) 質問日 9月10日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 歴史文化財課
- (5) 答弁内容

「信玄ミュージアム」は、国史跡 武田氏館跡の歴史や見所を紹介するとともに、地域に賑わいを創出する施設として本年4月5日にオープンいたしました。

当施設は、武田神社との相乗効果により県内を訪れる観光客のできるだけ多くの方々に訪れていただきたいと考え、有料の特別展示室に10万人という目標を設定し、オープン前から積極的にPR活動を実施してきたところであります。

具体的なPRの方法につきましては、県外の観光商談会への参加や集客プロモーションパートナー都市の広報誌及び、県内外の新聞・雑誌への掲載に加え、テレビ・ラジオ等様々な媒体を活用してまいりました。

オープン後は、自主事業や関係部局等との連携事業、定期的な「武田の館市」マルシェの開催などにより、8月末現在で、全国のガイダンス施設の中でも上位となる14万人を超える方々にご来館いただきましたが、特別展示室の観覧者は、来館者数の1割強の約16,500人とどまっております。

来館者の推移につきましては、4・5月は、個人客を中心にご来館いただきましたが、6・7月については、天候不順の中でも団体客が大きく増加したことから、商談会等でのPRが効果をあげてきていると考えております。

また、夏休み期間中には親子を対象としたクイズラリーを実施したところ、

## 報告：第13号

大変好評をいただき、多くの方々にご来館いただいたところであります。

今後におきましても、展示内容の充実を図りながら、特別展示室へも足を運んでいただけるような工夫を行うとともに、秋の観光シーズンに向けて、効果的なPR活動を行いながら、魅力あるイベント等を開催し、より多くの方々にご来館いただけるよう努めてまいります。

# 報告：第13号

9月10日(火) 08 望月大輔 議員 答弁資料目次 (令和元年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	山梨「ワイン県」宣言の活用について	産業部長	2
1-3 1-4	ジュエリー産業の振興について	市長	1
1-5	地場産業の振興について	産業部長	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	国際交流員(CIR)の今後の取組について	企画部長	1
<b>2-2</b>	<b><u>ALTにおけるJETプログラムの活用について</u></b>	<b>教育長</b>	<b>2</b>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	移住・定住施策の更なる推進について	企画部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	(仮称)子ども条例の制定について	子ども未来部長	1
4-2	幼児教育・保育の無償化について	子ども未来部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	消防団員確保への取組について	危機管理監	1

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### ALTにおけるJETプログラムの活用について

(1) 質問者 望月 大輔 議員

(2) 質問日 9月10日

(3) 答弁者 教育長

(4) 担当課 学校教育課

(5) 答弁内容

本市のネイティブ・スピーカーを活用した外国語教育は、県下でも、先進的な取組として姉妹都市との友好促進と生徒が生きた英語を学ぶことを目的にデモイン市から現職教員を招聘し、平成元年度に甲府商業高校に配置したことから始まっております。

その後、中学校へ配置を拡大するにあたり、デモイン市へ増員派遣を依頼し、順次、招聘者を増やす中で、中学校、甲府商業高校における外国語教育の充実を図ってきたところであります。

小学校へは、現行の学習指導要領における高学年での外国語活動の実施にあわせ、本格的な配置を行ってきたところでありますが、英語が堪能でない教員との打ち合わせが必要であることから、日本語のできる現地採用者を今日まで配置しております。

JETプログラムによって派遣されたALTは、当初は、日本語や日本の学校教育への理解不足などの課題が指摘されておりましたが、近年は、多くの実績を重ねる中で日本における教育に深い関心を持つ者が選考され、日本

## 報告：第13号

語ができる人材を希望できるようになってきておりますので、今後につきましては、JETプログラムを活用してALTを年次的に採用してまいります。

# 報告：第13号

9月11日(水)09 堀とめほ 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	ひきこもり支援について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	子どものアレルギー対策について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
<u>3-1</u>	<u>小学校外国語教育におけるALTの増員について</u>	<u>教育長</u>	<u>1</u>



## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 小学校外国語教育におけるALTの増員について

- (1) 質問者 堀 とめほ 議員
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

急速なグローバル化の進展を背景に、外国語によるコミュニケーション能力の育成は重要な課題となっており、来年度から、全面実施される小学校の次期学習指導要領においては、中学年で外国語活動、高学年で外国語科が導入され、本格的に外国語教育が実施されることとなっております。

本市におきましては、今年度から独自に次期学習指導要領における外国語教育を先行実施することとし、昨年度よりALT3名を増員配置したところであります。

また、市長の政策提言をとりまとめた「こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT」において、「時代に即した学習の支援」として、小学校における外国語教育の充実を掲げ、英語力の向上や国際理解教育を推進するため、次期学習指導要領に対応できるALTの配置を計画しております。

今後につきましては、外国語教育におけるネイティブ・スピーカーとのやり取りによる学習や外国語の背景にある文化への理解を深める学習などが大切になることから、JETプログラムを活用しながら、指導体制の充実を図ってまいります。

# 報告：第13号

9月11日(水) 10 藤原伸一郎 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(一問一答方式) 3-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	リニア中央新幹線新駅周辺の整備について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	リニア中央新幹線新駅周辺の住民対応について	リニア交通政策監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	リニア中央新幹線新駅整備に伴う甲府刑務所移転について	リニア交通政策監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	本市における児童虐待について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	養育支援訪問の状況について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1	妊娠期から支援が必要な妊婦への取組状況について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
7-1	乳幼児健診未受診者への対応について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
8-1	未就園・未就学児への支援の実施状況について	子ども未来部長	1

# 報告：第13号

9月11日（水）10 藤原伸一郎 議員 答弁資料目次（令和元年9月 定例会）

（一問一答方式）3-2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
9-1	<u>児童虐待と学校について</u>	<b>教育長</b>	<u>1</u>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
10-1	<u>児童虐待の学校での研修について</u>	<b>教育長</b>	<u>1</u>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
11-1	<u>一時保護に関わる諸機関連携について</u>	<b>教育長</b>	<u>1</u>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
12-1	<u>学校での人材活用について</u>	<b>教育長</b>	<u>1</u>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
13-1	<u>学校での性教育について</u>	<b>教育長</b>	<u>1</u>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
14-1	児童虐待に対しての相談体制について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
15-1	児童相談所との連携について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
16-1	要保護児童対策地域協議会について	子ども未来部長	1

## 報告：第13号

9月11日(水) 10 藤原伸一郎 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(一問一答方式) 3-3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
17-1	中核市となり児童相談所設置に向けた検討について	子ども未来部長	1

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 児童虐待と学校について

- (1) 質問者 藤原 伸一郎 議員
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

学校においては、虐待の早期発見に努めながら疑わしい事案を発見した際には子どもの安全を最優先に考え、福祉事務所または児童相談所へ迅速な通告を行うとともに、教育委員会への連絡・報告を行っております。

教育委員会においては、その連絡・報告内容に応じて、指導・助言を行っております。

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 児童虐待の学校での研修について

- (1) 質問者 藤原 伸一郎 議員
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

各学校におきましては、職員会議などにおいて、虐待対応のあり方や気になる児童生徒について共通理解を図るなど、管理職を中心に校内体制を整備するとともに、事例に応じて、児童相談所、子ども支援課、警察などの関係機関との連携を図っております。

教育委員会では、教職員に対して、チームとして対応できる学校体制づくりや関係機関との連携、学校の役割と責務、日頃からの観察のポイント、通告までの流れ・方法、通告後の対応などについて研修を行っており、各学校においても、受講した教職員が伝達研修を行っております。

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 一時保護に関わる諸機関連携について

- (1) 質問者 藤原 伸一郎 議員
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

進学・転学の際の学校間の情報共有につきましては、転出元の学校においては、指導要録や健康診断票に加え、必要に応じて、直接、在校時の様子に係る情報等を伝えております。

転入先の学校においては、管理職や養護教諭などの関係職員、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等が情報を共有し、適切な対応をとるようにしております。

一時保護に関わる諸機関との連携につきましては、児童相談所が一時保護を必要と判断した場合は、要請に基づき当該児童生徒を学校に留め置き、確実に引き渡すようにしております。

## 報告：第 13 号

令和元年 9 月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 学校での人材活用について

- (1) 質問者 藤原 伸一郎 議員
- (2) 質問日 9 月 11 日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

経済不安、保護者の疾患、社会的な孤立など虐待のリスクが高いとされる家庭に対して、スクール・ソーシャルワーカーやスクール・カウンセラーが、福祉や心理の面から、早期の支援を行うことは、虐待の未然防止に有効であると考えております。

昨年度におきましても、スクールソーシャルワーカーが、養育環境が十分でない家庭を関係機関につなぐとともに、スクールカウンセラーが、育児不安を抱える保護者に心理的なサポートを行うなど早期の支援を図ったところであります。



## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 学校での性教育について

- (1) 質問者 藤原 伸一郎 議員
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

小学校におきましては、体育科の中で、思春期になると、大人の身体に近づき初経や精通が起こることや異性への関心が芽生えることなどについて指導しております。

中学校におきましては、保健体育科や特別活動の中で思春期には生殖に関わる機能が成熟し、性衝動が生じることやこうした変化に対する適切な行動、性情報への対応の仕方などについて指導しております。

# 報告：第13号

9月11日(水) 11 坂本信康 議員 答弁資料目次(令和元年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	A I ・ R P A の活用について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	自主防災組織における防災リーダーの役割について	危機管理監	1
2-2	防災士の育成について	危機管理監	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	消防団員の人材育成について	危機管理監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
<b>4-1</b>	<b>健康づくりのためのスポーツ施設の整備について</b>	<b>教育部長</b>	<b>1</b>

## 報告：第13号

令和元年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 健康づくりのためのスポーツ施設の整備について

- (1) 質問者 坂本 信康 議員
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 答弁内容

心身の健康保持増進に重要な役割を果たすスポーツは、健康で活力に満ちた市民生活の実現に必要不可欠なものでありそれを支えるスポーツ施設の環境整備は大変重要であると考えております。

本市のスポーツ施設は、その多くが老朽化し、今後、多額の整備費用が懸念されることから、平成30年3月に「甲府市スポーツ施設 整備基本方針」を策定し、市有スポーツ施設のそれぞれの課題と整備方針を取りまとめたところであります。

緑が丘スポーツ公園につきましては、各施設が建設後、既に60年以上経過していることや、県が整備する都市計画道路「緑が丘アクセス線」の影響を受けることから、先行して必要な対応を図るとともに、市民意識調査の結果で要望の多かった「子どもの運動機会の充実」やジョギングやウォーキングなどのライフスポーツができる施設整備を行っていきたいと考えております。

その他の市有スポーツ施設につきましては、現状の機能が維持できるよう必要な改修を行っていくこととしており、これまでに、青葉スポーツ広場に防球ネット、東下条スポーツ広場に防砂ネットを新設したところであります。

また、学校の夜間照明施設につきましては、市民要望の高いグラウンド・ゴルフやサッカーに対応できるよう施設整備を行うためには、長い期間を要

## 報告：第13号

することが課題となっていたことから、一括発注のリース方式を採用することにより、短期間での整備を終えることができたところであります。

今後におきましても、引き続き、市民の健康づくりに寄与できるスポーツ施設の整備に鋭意取り組んでまいります。

# 報告：第13号

9月11日(水) 12 深沢健吾 議員 答弁資料目次 (令和元年9月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1～ 1-3	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	母子保健に関わる不妊治療の支援体制について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	幼児教育・保育の無償化に向けた取組について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
<b>4-1</b>	<b>教員の働き方改革に向けた取組について</b>	<b>教育長</b>	<b>1</b>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1～ 5-3	高齢運転者の交通事故防止策について	市民部長	1

## 報告：第 13 号

令和元年 9 月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 教員の働き方改革に向けた取組について

- (1) 質問者 深沢 健吾 議員
- (2) 質問日 9 月 11 日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省では、教員の厳しい勤務実態を踏まえ、多忙化を改善し、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革の取組の徹底を求めています。

本市におきましては、これまでの教員の働き方を見直し、多忙化を改善することは、教員が、その本分である教育活動に注力し、子どもたちの「生きる力」を育む上でとても重要であると考え、平成 29 年 6 月に「教員の多忙化改善対策検討委員会」を立ち上げ、多忙化の改善に向けて、様々な取組を行ってきたところであります。

具体的には、教員が参加する研修会や会議の精選、市独自に雇用する臨時教育職員等の配置、教員をサポートする専門スタッフやボランティアの活用、学校閉庁日の試行、出退勤時間の管理、専門家を招いての管理職を対象とした研修会などの取組を行ってまいりました。

こうした取組により、本年 6 月の状況は、昨年同期と比べ、小学校、中学校ともに時間外勤務が減少しております。

今後におきましても、様々な事務負担軽減のための新たな校務支援システムを導入するなど教員の多忙化の改善に努め、教員が子どもと向き合う時間を確保することにより教育の質の向上を図るとともに、教員がやりがいを持って仕事に取り組める環境づくりを進めてまいります。

# 報告：第14号

9月20日(金)05 清水英知 議員 答弁資料目次(令和元年9月 決算特別委員会)

2-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	平成30年度の市民生活及び地域経済の認識について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
<u>2-1~</u> <u>2-3</u>	<u>就学援助について</u>	<u>教育部長</u>	1
<u>2-4</u>	<u>(再質問)クラブ活動費の支給について</u>	<u>教育部長</u>	<u>2</u>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	すこやか子育て医療費助成制度の対象年齢拡大について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	国民健康保険事業の運営について	市民部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	介護保険における第1号被保険者の状況について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	「トップランナー方式」による影響について	企画部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
7-1	中小企業等訪問プロジェクトについて	産業部長	1

# 報告：第14号

9月20日（金）05 清水英知 議員 答弁資料目次（令和元年9月 決算特別委員会）

2-2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
<u>8-1</u>	<u>教員の時間外勤務時間と配置増について</u>	<u>教育長</u>	<u>1</u>



## 報告：第14号

9月20日（金）05 清水英知 議員 答弁資料目次（令和元年9月 決算特別委員会）

### 就学援助について

- (1) 質問者 清水 英知 議員
- (2) 質問日 9月20日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市では、児童生徒が経済的な理由により教育を受ける機会が制限されることがないように、就学援助制度の充実に努めているところであり、本9月定例会にも入学準備費等の単価の引き上げに伴う補正予算を提案したところがあります。

本市の認定基準につきましては、平成25年度に国が生活保護基準を引き下げた際にも、引き下げ前の基準を基に1.3倍の係数を用いており、平成30年度では1.32倍となっている状況であります。

就学援助率の減少傾向については、文部科学省の実施状況調査においては、要因として「経済状況の変化」と回答した市町村が多いことや、県内の失業率も改善傾向にあることから、そのようなことが背景にあるのではないかと推測しているところであります。

次に、認定基準の拡大及び新3項目につきましては、全国的にも生活保護基準を基に認定している約6割の自治体が、1.3倍以内となっていることから、本市の認定基準は、標準的なものであると捉えており、また、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の新3項目についても山梨県内でも実施している市町村がないことや全国的にも2割程度の実施率にとどまっていることから、今後におきましても、現行の制度を維持しつつ引き続き、他都市の動向等を注視してまいります。

## 報告：第14号

9月20日（金）05 清水英知 議員 答弁資料目次（令和元年9月 決算特別委員会）

### （再質問）クラブ活動費の支給について

- (1) 質問者 清水 英知 議員
- (2) 質問日 9月20日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

クラブ活動費を含め、新3項目は各項目ともに負担額が、種目や学校によって異なるなど幾つかの課題もありますことから、今後におきましても、引き続き、他都市の動向等を注視してまいります。

## 報告：第14号

9月20日（金）05 清水英知 議員 答弁資料目次（令和元年9月 決算特別委員会）

### 教員の時間外勤務時間と配置増について

- (1) 質問者 清水 英知 議員
- (2) 質問日 9月20日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

教員の時間外勤務につきましては、本年6月の状況は、昨年同期と比べ、1か月あたりの平均で、小学校で7時間程度、中学校で10時間程度、減少しております。

また、「過労死ライン」と言われる、時間外勤務が月80時間を超える者の割合は、小学校で9.3%、中学校で17.3%となっており、こちらにつきましても改善傾向が見られるところであります。

時間外勤務の減少に伴い減った業務内容につきましては、会議や行事、部活動等に係る時間が減ったと考えております。

授業の持ち時間数につきましては、教員の配置基準が変わっておりませんので、大きな変化はないと考えております。

多忙化改善につきましては、人的環境の充実も重要であると考えておりますので、引き続き、県教育委員会に対して、教職員配置の増加について要望してまいります。

# 報告：第14号

令和元年10月2日

甲府市議会議長 金丸三郎様

決算審査特別委員長 兵道顕司

## 報告書

去る9月11日の本会議において、当委員会に付託されました、議案第87号 平成30年度甲府市各会計別決算の認定について、議案第88号 平成30年度甲府市地方卸売市場事業会計決算の認定について、議案第89号 平成30年度甲府市病院事業会計決算の認定について、議案第90号 平成30年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、議案第91号 平成30年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についての5案について、9月20日から9月30日までの11日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

教育費については、学校規模適正化の取組についてただしたのに対し、児童・生徒の適正配置に向け、児童数が多い山城地区及び玉諸地区の一部において、新たに小学校の通学調整区域を設定したとの答弁がありました。

これに対し、南部地域の中学校においても通学調整区域について検討するなど、全市的な学校規模適正化の推進を求める意見がありました。

このほか、主な要望・意見は次のとおりです。

- 1 緑が丘スポーツ公園については、市民の健康づくりや生涯スポーツなど多様な活動に対応できる施設整備に努めること。
- 1 地域ぐるみで子どもの安全を守るための情報共有手段として、学校安全ボランティアにマメルメールへの登録を促すこと。
- 1 各公民館における図書館システムのネットワーク化を検討すること。
- 1 教員の多忙化解消を図るため、学校給食費の公会計化を検討していくこと。

以上が、議案第87号（教育委員会分抜粋）の審査における質疑の大要であります。

## 報告：第14号

この後、反対・賛成討論があり、採決の結果、議案第87号 平成30年度甲府市各会計別決算の認定についてのうち、一般会計決算並びに国民健康保険事業、住宅新築資金等貸付事業及び介護保険事業の各特別会計決算については、多数をもって、交通災害共済事業、古関・梯町簡易水道事業、農業集落排水事業、簡易水道等事業、後期高齢者医療事業及び浄化槽事業の各特別会計決算については、全員異議なく当局提案のとおり認定するものと決しました。

最後に、市長から、近年、少子高齢化と人口減少が進んでおり、今後もその傾向が続くとともに、社会保障関係費等の支出は増加が見込まれている状況ではあるが、市民に最も身近な基礎自治体である本市の役割は、効率的な行財政運営により、引き続き行政サービスの質の維持に努める中で、住民ニーズを的確に捉え、地域の特性を活かしながら、自主性及び自立性を高めていくことが、今まで以上に必要となっており、今後においても、第六次甲府市総合計画はもとより、こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTに位置付けた施策を着実に推進し、都市像の実現に向け邁進していきたいとのあいさつがありました。

以上が委員会審査の経過と結果であります。本市においては、今後とも厳しい財政運営が続くと見込まれる中、様々な観点から施策・事業の検証を行うとともに、自主財源の安定的な確保と効果的な財源配分に努め、中核市にふさわしい事業を展開していく必要があります。

当局におかれましては、限られた財源の効率的な執行に留意しつつ、最上位計画である第六次甲府市総合計画の施策を着実に推進し、市民福祉の一層の増進に努められるよう要望して報告を終わります。